

ユニバーサル野球で世界に楽しみをつくろう

—No.52 横瀬町—

【事業の目的】

新型コロナウイルス感染症の影響で身近にあったスポーツが規制を受ける中、未来に向けて、屋外版ユニバーサル野球場を作り、幅広い年齢層の方が楽しめるイベントを実施します。

【事業の内容】

横瀬町では、地方創生加速化交付金を活用し、官民連携プラットフォーム「通称：よこらぼ」を2016年10月より運用し、現在まで150件を超える提案を集めています。

今回、堀江車輛電装株式会社から提案のあった、「ユニバーサル野球で世界に楽しみをつくろう！」を「よこらぼ」の76番目のプロジェクトとして採択しました。具体的な内容は、町内からボランティアを募集し、屋外版ユニバーサル野球場を作成し、地域の福祉や教育に活用していくプロジェクトです。新型コロナウイルス感染症で、イベントの取り組みが制限される状況の中、老若男女すべての方が楽しめるユニバーサル野球を実施します。

【事業年度】

令和2年度

【予算額(千円)】

0千円

【財源】

なし

【事業実施に至った背景・経緯】

堀江車輛電装(株)の中にある、障がいのある方専門の職業紹介やスポーツ支援を行う障がい者支援部門の方が「よこらぼ」に提案したのがこの事業のきっかけ

けです。提案者の障がい者への総合支援やユニバーサル野球にかける情熱もあり、よこらぼの76番目の事業に採択となり、実施に向けて動き出しました。

これまで「よこらぼ」で様々な企業・団体・個人の提案を集め、多くのプロジェクトを誘致してきましたが、新たな技術やサービスの実証試験が多く、実際に形に残るものが少ないことが課題でした。また、町の小・中学校と連携する事例も多くはなく、そのことも課題となっていました。

【事業のPRポイント】

町内からボランティアを募集した結果、横瀬小学校の児童たちや町内の塗装業者も参加していただき、ユニバーサル野球場の作成には多くの方が携わり、町内の賑わいの創出につながりました。また塗装業者の参加により本格的な塗装を行うことができました。

また、福祉部局の協力もあり、障がい者支援施設と横瀬小学校でユニバーサル野球の試合を行うことができました。新型コロナウイルス感染症の影響で運動会や修学旅行等が短縮となった中での実施となったため、貴重な経験を子どもたちに提供できました。

【事業実績・成果・今後の展開】

町民ボランティアと一緒に木材を加工することから始まり、塗装作業や組み立て作業も行いました。ボランティアには合計25名が参加し、11/18（水）に横瀬小学校で披露し、90名の児童に楽しんでもらいました。また、11/28（土）には障害者支援施設さやかでも体験会を開催しました。

作成したユニバーサル野球場は、「よこぜユニバーサル野球場」の名称で全国各地の体験会で活用される予定です。

【参考資料】

<https://www.youtube.com/watch?v=BbgeUYXDBp0>

（障害者支援施設さやか（清心会））

<https://www.youtube.com/watch?v=YFBX0QDGLUQ>

（横瀬小学校授業（交流及び共同学習））

〔 連絡先 〕

まち経営課 政策・秘書・広報グループ 0494（25）0112